2023年度　実務経験のある教員による授業科目一覧【看護学部】

氏名	科目名	単位数	授業内容 （どのような経験を持ち、どのような授業を行うか）
伊藤　美千代	産業保健論Ⅰ	1	産業保健活動経験を活かし、事例を通じて産業保健活動の実際の講義を行います。
伊藤　美千代	産業保健論Ⅱ	1	授業では、実際の産業保健師活動事例を基に説明を進めます。
間瀬　由記	エンドオブライフケア論	1	担当教員の看護師としての実務経験から具体例をあげて、学習する概念や看護ケアのイメージ化を促す。
吉武　幸恵	看護学概論	2	総合病院の病棟での実務経験を活かし、医療を取り巻く環境の変化に合わせて学ぶべきこと、変化する中にあって変わらないもの、変わってはいけないものについて共に考えながら、看護の基本について指導する。講義と課題学習の組み合わせにより、看護の在り方について考察し、主概念である人間、環境、健康、看護について、また、それらの関連について理解を深められるよう指導する。
吉武　幸恵	看護技術論Ⅰ	2	総合病院の病棟での実務経験を活かし、看護技術（主に生活行動支援）の基礎について指導する。講義と課題学習の組み合わせにより、看護技術の意義、特徴を理解し、主概念である安全・安楽・自立を目指すことの重要性および、看護の基本である人間関係技術を理解し、対象者との関係を築き発展させる能力が身につくよう指導する。
吉武　幸恵	看護技術論Ⅱ	2	総合病院の病棟実務経験を活かし、看護技術（主に診療の補助技術）の基礎について指導する。講義・演習においては、実務で経験した事例や報告事例を提示して、問題点や注意すべき点についてイメージしやすいよう展開する展開する。また、診療の補助業務では患者に侵襲を加える行為も含まれるため、根拠に基づいた安全・安楽な援助技術を身につけられるよう指導する。
吉武　幸恵	看護研究	1	総合病院の病棟での実務経験を活かし、医療現場における疑問や課題から研究課題へと洗練し、研究デザインや研究方法の選定、データ収集から分析、結果のまとめ方の概要について指導する。
金子　仁子	公衆衛生看護活動方法論Ⅰ	1	保健師としての経験をいかして、地区診断、事業評価の内容を享受する¥n乳幼児健康診査の実際場面を想起できるような演習材料を提示する
金子　仁子	公衆衛生看護活動方法論Ⅱ	2	経験した保健師活動から演習素材を取り出し演習を行う。
荒川　雅子	学校保健論Ⅰ	1	学校現場で養護教諭として勤務した経験を活かし、実際に学校で起こった事例を基に、課題を解決できる力を身に付けさせる。
荒川　雅子	学校保健論Ⅱ	1	学校現場で養護教諭として勤務した経験を活かし、実際に学校で起こった事例を基に、課題を解決できる力を身に付けさせる。
高柳　千賀子	高齢者看護学概論	2	総合病院の病棟での高齢者看護の実務経験を活かし、老化現象が高齢者の身体面・心理面・社会面に及ぼす影響について解説する。講義と一部グループワークにより高齢者を取り巻く保健・医療・福祉における課題を考察し、老年看護の目的と役割について理解する。
細川　満子	ケア論	1	在宅看護での経験、地域でのボランティア経験に基づきケアの対象を多角的に捉え、地球社会おけるケアの方法を見出すことを指導する。また代替補完療法（シャーマン）からケアの多様性を学ぶ。講義とグループワークの組み合わせにより、ケア対象者・家族の思いを共感し、ケアとは何かという根本的な問題を考えられるようにする。
細川　満子	看護と情報Ⅳ	1	講義の中で実践事例について紹介する。
細川　満子	在宅看護学概論	2	各教員の在宅看護・施設看護の経験を活かし授業を進める
細川　満子	在宅看護学概論Ⅰ	1	講義において実務経験から得た在宅・地域での人々の暮らしや社会資源の機能および地域ケアシステムについて教授する。
細川　満子	在宅看護学概論Ⅱ	1	講義内容の理解を深めるため、担当教員の経験に基づく具体例を示す。

氏名	科目名	単位数	授業内容 （どのような経験を持ち、どのような授業を行うか）
細川　満子	在宅看護学方法論	2	在宅看護の実務経験を活かし、在宅療養者とその家族を単位とした地域・在宅での看護活動の展開方法と技術について指導する。講義と演習との組み合わせにより、訪問看護で用いられる主な医療的管理や看護ケア技術を学ぶ
山口　豊	カウンセリング基礎	1	カウンセラーと高校教員のキャリヤを生かした授業を展開する。
山内　英樹	リハビリテーション論	1	教育リハビリテーション、社会リハビリテーション、職業リハビリテーション、リハビリテーション看護の実務経験に基づいたリハビリテーションの考え方と実際についての講義を行う
山野内　靖子	家族看護論	1	臨床看護師としての20年以上の実務経験をもっている。また、看護教育や生涯教育に関わり、小児看護学のなかで子どもと家族を中心とする看護を経験してきている事を活かした授業展開に努める。
山野内　靖子	小児看護学概論	2	小児科での実務経験のある教員が、小児看護の基礎について解説する。子どもを取り巻く保健・医療・福祉の動向と課題について理解し、成長発達過程にある子どもの特徴や小児看護の役割を学ぶ。また小児看護における倫理や子どもの最善の利益を目指した看護について学ぶ。
山野内　靖子	小児看護学方法論	2	小児科での実務経験を活かし、健康障害を有する小児とその家族への看護に関する知識と関わり方、小児看護技術の方法について指導する。講義とグループワークによる演習を通じて、特に、現在の小児医療が抱える課題に目を向け、看護の立場から課題解決の方法や支援のあり方について学習する。
市川　香織	キャリアデザインとケアⅠ	1	看護師、人的資源管理の専門家としての経験をもとにしたキャリアデザインについて授業で具体的な事例を提供する。
市川　香織	キャリアデザインとケアⅣ	1	専門職業人のキャリアサポートを行ってきた実務経験を活かして、卒業前教育としての総仕上げとなるよう具体例を通した授業を行う。
市川　香織	家族看護学	1	講義を担当する教員は看護師としての実務経験を活かし、家族に関する概念と具体的な支援について、学生が考察を深められるよう講義を行う。
市川　香織	母性看護学概論	2	助産師としての実務経験を活かし、生涯を通した女性の健康の支援、リプロダクティブヘルス・ライツに関する概念と具体的な支援、母子保健とそれを取り巻く課題等について、学生が考察を深められるよう講義を行う。
市川　香織	母性看護学方法論	2	助産師としての実務経験を活かし、周産期における母性の特性を理解し、妊娠・分娩期および産褥期にある女性と新生児、その家族の看護について指導する。講義と演習の組み合わせにより妊婦・産婦・褥婦の身体的・心理的変化と家族を含めた対象の心理・社会的特性、および新生児の生理的特徴についての知識、観察と援助に必要な看護技術を習得できるような形態で行う。
児玉　悠希	ヘルスアセスメント論	2	急性期領域での実務経験（看護師）を活かし看護対象者の理解と健康状態のアセスメント（ヘルスアセスメント）の基礎について指導する。複数の患者事例によるアセスメント演習と対象の観察を目的としたシミュレーション演習によって、学生の実践的な思考力および観察技術を養う。
児玉　悠希	看護と情報Ⅰ	1	医療機関での実務経験を活かし、医療従事者の情報管理の実際や医療情報システムの現状を踏まえた講義を行う。また、看護師としての実務経験を踏まえ、看護師の働く環境にICTやIoT、AIなどのデジタルテクノロジーがどのように活かされていくかを示していく。
児玉　悠希	看護過程論	1	急性期領域での臨床経験を活かし、看護過程における基本的なアセスメント内容、および発展的な専門性の高いアセスメントの展開方法について指導する。
時田　礼子	公衆衛生学	2	保健師として自治体に勤務した経験を活かし、公衆衛生学について、生活をしている限り自分に関係のあることとして捉えられ、且つ看護職としての視点も養うための講義を行う。

氏名	科目名	単位数	授業内容 （どのような経験を持ち、どのような授業を行うか）
小島　善和	成人看護学方法論(急性期)	2	教科書に記載された内容だけではなく、教員それぞれの実務経験に基づいた実践例を交えることで、理論と実践を結びつけた授業を行う。
小島　善和	成人看護学方法論(慢性期)	2	教員はそれぞれ臨床での看護実践経験をもつ。ゲストスピーカーは、がん看護専門看護師として臨床にて活動中である。
松下　博宣	キャリアデザインとケアⅡ	1	看護師としての経験をもとにしたインタビュー技術やチームにおける対話力、チームワーク、ラボレーション、リーダーシップ、フォロワーシップの実際についての授業内容とする。
松下　博宣	ヘルスケアサービス論	2	アメリカ、カナダ、スリランカ、コンゴ民主共和国でのヘルスケアサービス改善などの経験あり。授業トピックに応じて、それらの知見をシェアする。
松下　博宣	ヘルスケアマネジメント論	1	看護管理者の実務経験をもとにマネジメントに関する基礎知識と、具体的に活用できるマネジメント方法について講義を行う
水野　芳子	看護と情報Ⅲ	1	臨床で多く体験するような事例をもとに根拠ある看護に必要な情報について学習します
生魚　薫	臨床栄養学	2	総合病院での実務経験を活かし、管理栄養士と看護師の関わりについて交えながら解説していく。
石井　政弘	健康科学	2	担当者はそれぞれスポーツ指導、看護、医療などの専門家である。¥n特に外部講師は、実際にスポーツ現場や病院等で多くの選手や関係者をサポートしている立場である。
石井　優香	高齢者看護学方法論	2	高齢者看護学の実務経験を活かし、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化をふまえ、高齢者に生じやすい様々な生活機能ならびに健康上における障害の特徴とそれらを予防方法について指導する。講義と演習の組み合わせにより老年看護の対象となる人々の特性に応じた適切な看護の方法と看護実践に必要な基礎知識・技術を習得する。
大久保　一郎	保健福祉行政論	1	国（厚生労働省等）での実務経験を生かし施策化について具体的に教授する
大石　朋子	口腔健康論	1	摂食嚥下リハビリテーションに従事した経験を活かし、口腔の健康に関連した講義を行う。
藤井　博英	看護倫理	1	看護師としての実践経験と患者家族としての実際の体験に基づき、臨床場面で遭遇する倫理的諸問題について紹介するとともに、その解決のステップについて学習する。
藤井　博英	精神看護学概論	2	精神科看護師としての実務経験に基づき、精神障がい者の理解および精神看護の特殊性について指導する。また、講義や演習の組み合わせにより、精神障がい者をとりまく精神保健医療福祉の現状を学ぶとともに精神障がい者のリカバリーを進めるために必要な知識と援助技術を習得する。
藤井　博英	精神看護学方法論	2	精神科看護師としての実務経験に基づき、精神障がい者の理解および精神看護の特殊性について指導する。また、講義や演習の組み合わせにより、精神障がい者をとりまく精神保健医療福祉の現状を学ぶとともに精神障がい者のリカバリーを進めるために必要な知識と援助技術を習得する。
藤谷　克己	医療リスクマネジメント	1	国内での多くの医療機関及び各医療職能団体（日本看護協会等）における講演やワークショップを行ってきた経験を活かし、実践的なワークショップを基にした小演習を実施する。
樋野　興夫	病理学	1	病理医が講義を行う。
鈴木　明子	感染症学	1	千葉大学医学部附属病院ICT（Infection Control Team）のメンバーの一員として活動た経験、千葉県保健所保健婦として感染症危機管理に対応した経験を活かして、感染対策に関する講義を行う。
	合計	70	